

まず、MD3_SFP を下記に従って立ち上げて下さい。

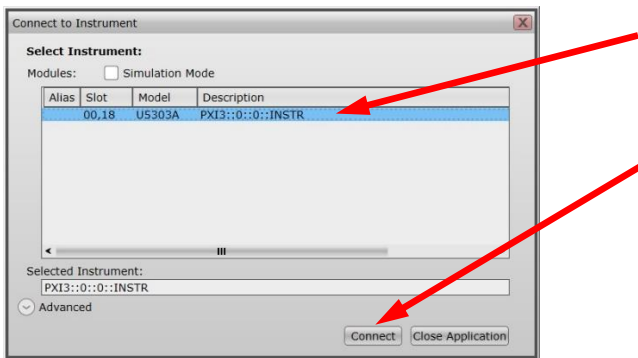
動作確認

下記 SFP(Soft Front Panel)を実行して、動作確認を行います。

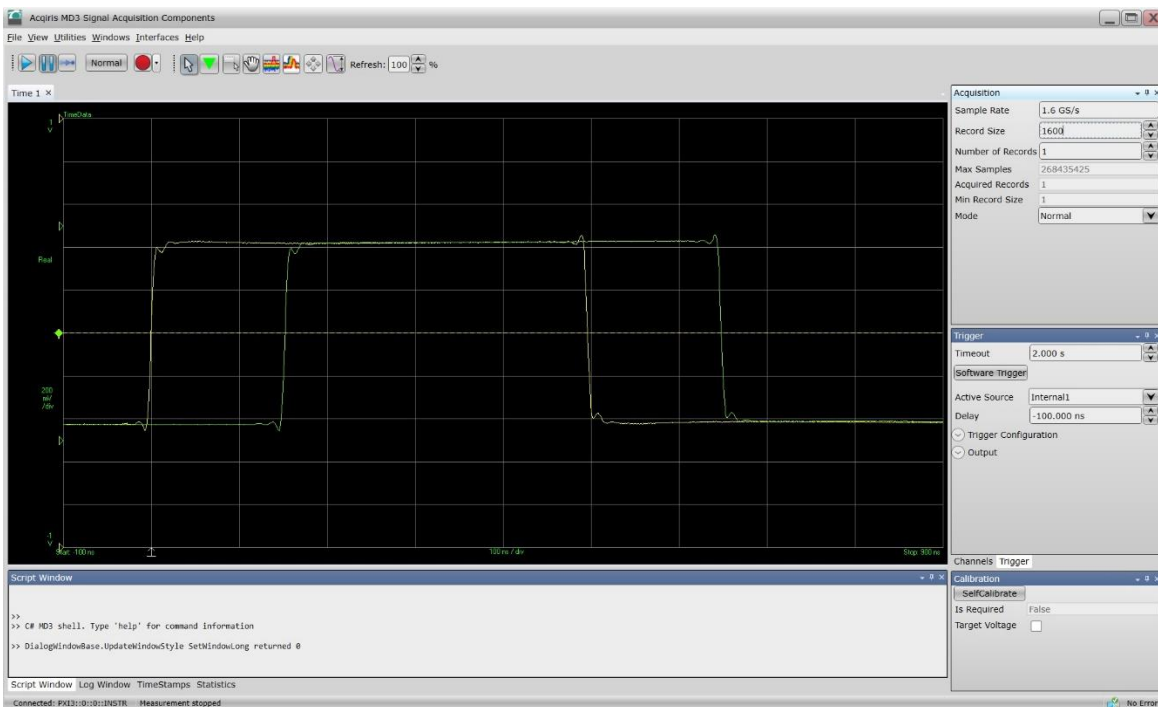
C:\Program Files\Acqiris\MD3\bin

Acqiris.MD3.Sfp.exe

実行すると、Connect to Instrument 画面が現れます。この時点で、デジタイザが認識されています。ここで、デジタイザを選択して connect をクリックすると、SFP(Soft Front Panel、オシロスコープ画面)が現れます。



波形発生器等から信号を入力し、デジタイザの動作確認を行います。



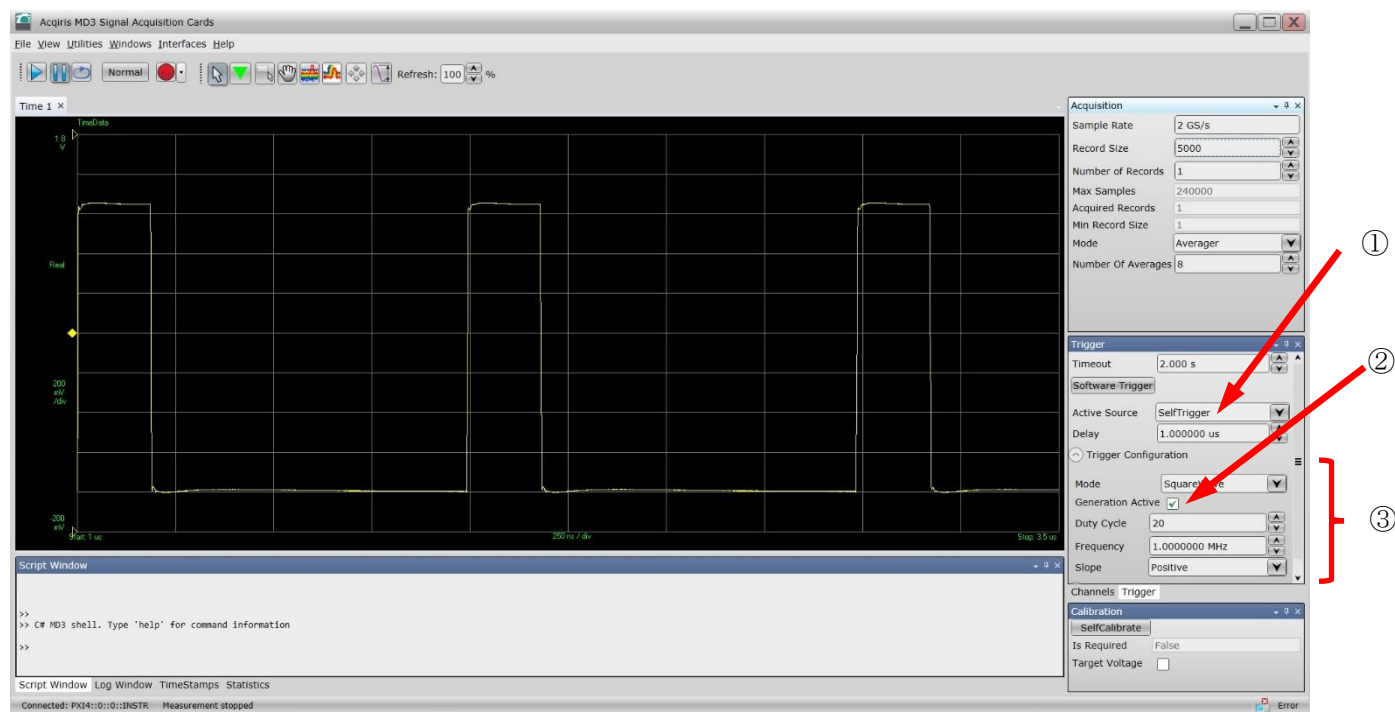
SFP の使い方は、下記 Help を参照して下さい。

C:\Program Files\Acqiris\MD3\Documentation
MD3_SFP_Help.chm

Averager self-trigger セットアップ方法 (self-trigger 波形確認)

Self-trigger は、デジタイザ・フロント・パネルの IO3 から出力されます。
まず、IO3 を Input1 に接続し、self-trigger 波形の確認を行って下さい。

① Trigger --> Active Source で "SelfTrigger" を選択する



② "Generation Active" にチェックを入れる

③ パラメータ設定する

上記では、下記パラメータを設定している。

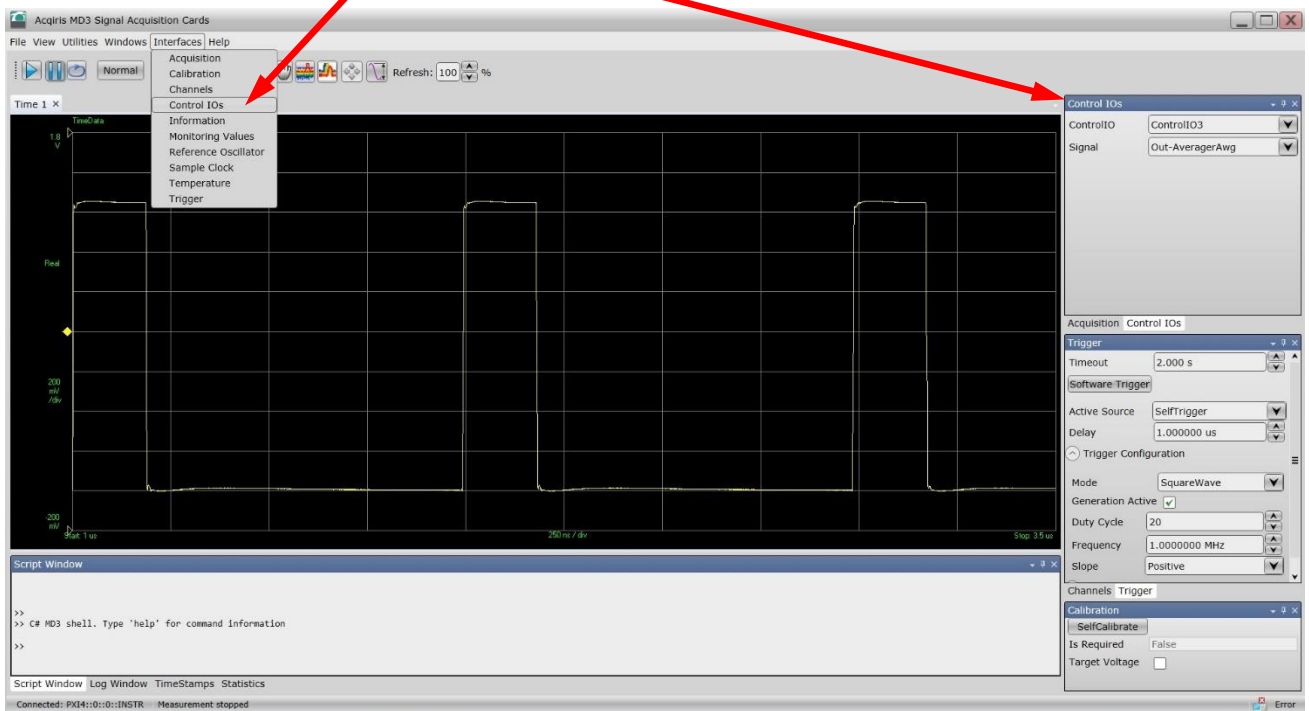
Mode : SquareWave

Duty Cycle : 20 (%)

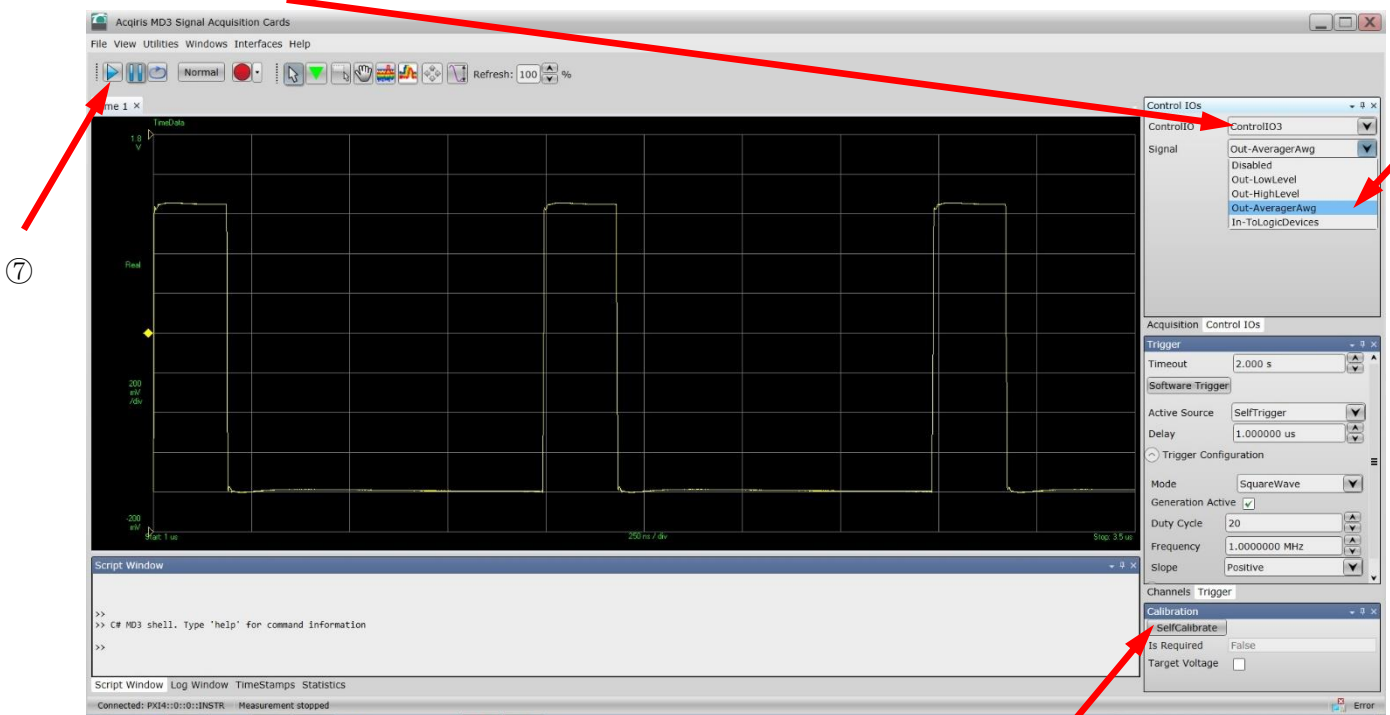
Frequency : 1.0MHz

Slope : Positive

④ Interfaces --> Control IOs を選択し、Control IOs を表示する



⑤ controlIO3 を選択し、Out-AveragerAWG を選択する



⑥ SelfCalibrate を押して、self-calibration を実行する

⑥

⑦ Start ボタンを押して、測定を開始する